

**日本痛み関連学会連合
発足記念シンポジウム
プログラム集**

2021年10月2日（土） 13：00-16：30

順天堂大学医学部小川講堂（ハイブリット）



日本痛み関連学会連合
Union of Pain-related Associations in Japan

日本疼痛学会 日本ペインクリニック学会 日本慢性疼痛学会
日本腰痛学会 日本運動器疼痛学会 日本口腔顔面痛学会
日本ペインリハビリテーション学会 日本頭痛学会

サイエンスが進歩し続けるのは、
考え続ける人がいるから。
わかったこと。わからないこと。
その果てなき積み重ねで、答えに近づいていく。
がんや血栓の治療薬も、例外ではありません。
第一三共が積み重ねてきた知恵に、
新しい切り口を日々加えていく。

そうして生まれるイノベーションの先に、
希望という名のゴールがあると信じて。



イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo
第一三共株式会社

はじめに



日本痛み関連学会連合
代表 野口 光一
(日本疼痛学会 理事長)
(兵庫医科大学 学長)

日本における痛みの基礎及び臨床的研究、課題について発表、討議する学会は、分野が異なる複数の学会が存在し活発に活動を行ってまいりました。しかし近年急速に痛みの研究・臨床の分野の重要性が注目される中で、痛みの分野でも広域な、医療者・研究者の交流、厚生労働省など国の機関やヘルスサイエンス企業との窓口、疼痛の啓発活動の促進役、また国際的な組織との連携協力の役割をもつ学会連合の必要性が生じてきております。

そこで、痛みまたは痛みを伴う疾患や病態の分析・解明およびその治療に関する研究を行う8学会（日本疼痛学会、日本運動器疼痛学会、日本口腔顔面痛学会、日本頭痛学会、日本ペインクリニック学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会）ではこのたび各学会の理事会の承認の元に規約を制定し“日本痛み関連学会連合”が発足致しました。

本連合の目的は“痛みまたは痛みを伴う疾患や病態の分析・解明およびその治療に関する研究を行う学会が連合し、広く痛みに関する医療者・研究者の交流をはかるとともに疼痛研究および疼痛医療の研究を行う学会を代表する連合として国や地域社会に貢献すること、および国際的な研究機関及び組織などとの連携協力を行うこと”としております。

今回は疼痛に関わる各学会の皆様や様々な関係者の方々に是非、本連合設立をご理解いただき共に歩んで参るために、順天堂大学大講堂におきまして日本痛み関連学会連合発足記念シンポジウムを開催する運びとなりました。8学会の関係者が揃って関係者の皆様にご挨拶さしあげ、各ご来賓からのご挨拶、さらにレジェンドの3人の先生による記念講演を予定しております。また、8学会の共同活動による成果を2つご紹介したいと考えております。

コロナ禍の終息がなかなか見えない中でございますので、ハイブリッド開催の形で会を進めようと企画致しております。多数の皆様方のご参加を祈念しております。

2021年9月吉日

日本痛み関連学会連合【加盟団体】

日本疼痛学会

Japanese Association of the Study of Pain: JASP

日本における疼痛の病態メカニズムの解明やその治療を基礎的あるいは臨床的に研究している人々がフィールドを超えて集まるアカデミックな学会です。会員（約 800 名）は疼痛医学・医療に関わる生理学・薬理学 / 薬学・解剖学等の基礎医学者および様々な診療科・部門の医療従事者から構成され、本邦の疼痛医学・医療の先端研究の推進の中核的役割を担っています。国際疼痛学会 (IASP) の日本チャプターとして世界中の疼痛研究者・医療者と連携して国際的な活動を行っており、国内外に向けて疼痛に関する啓発・啓蒙活動や研究発表・情報発信を行っています。

日本ペインクリニック学会

Japan Society of Pain Clinicians: JSPC

日本ペインクリニック学会は、痛みの診断と治療を専門とする医学を進歩・発展させ、その知識と技術の普及をはかることを目的としている学会です。ペインクリニックはその主な治療手段として、薬物療法のみでなく神経ブロックや手術などの専門的手技を用います。これらは豊富な知識と適切な訓練の必要な手技であるため、当会では、専門医制度を設け、十分な訓練と経験に関する試験を実施し、合格した会員にのみ「ペインクリニック専門医」の呼称を許可しています。会員（約 4,800 名）の多くは麻酔科医ですが、近年では、他科やメディカルスタッフも増加傾向にあり、多職種連携で日本国民のあらゆる痛みを克服することを目指しています。

日本慢性疼痛学会

The Japanese Society for the Study of Chronic Pain : JSSCP

慢性疼痛の研究を通じて、その病態の解明と適切な診断および確実な治療の進歩をめざし、画一的、形式的な運営に流れることなく、会員相互の自由な意見交換の場として設立された学会です。慢性疼痛に関する教育・研究、そしてその臨床に深く関わっておられる医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、鍼灸師や臨床心理士など多岐にわたる職種から構成され会員総数は約 730 名となっております。慢性疼痛を持つ患者さんの“つらさ”を少しでも軽減できるように、本学会の多職種から構成されている特徴を生かし、基礎、臨床、研究、教育といった幅広い観点から、見つめていける学会運営を目指していきます。

日本腰痛学会

The Japanese Society for the Study of Low Back Pain

日本腰痛学会は、腰痛に関する学際的研究の進歩発展、知識の普及を図ることにより国民の健康の増進に寄与することを目的とした学会です。国民の腰痛診療への需要と期待が増大する中、極めて重要な学会の一つとして機能しています。約 1,000 名の会員は腰痛の診療や研究に従事する医師、理学療法士、放射線技師など多職種から構成されています。腰痛の病態解明に科学的に取り組んでいくことが、日本腰痛学会に課せられた最も大きな使命です。そのためには、多職種で連携してエビデンスを発信していくことが鍵と考えています。

日本運動器疼痛学会

Japanese Association for the Study of Musculoskeletal Pain : JAMP

本学会は、「運動器の痛みの診療や研究に携わる多領域の医療従事者および研究者が集まり、痛みをより科学的な面から追求していく」ことを目的としています。会員（約 800 名）は、運動器疼痛の診療に関わる医師、理学療法士、看護師、公認心理師、基礎研究者など多くの職種の方々に構成されています。運動器の慢性痛は様々な要因が関与しているため、集学的診療が望ましいとされています。器質的要因を探るとともに心理社会的な要因も評価する必要があります。多面的な研究を通して、チーム医療で集学的に運動器慢性痛に立ち向かっていくユニークな学会です。

日本口腔顔面痛学会

Japanese Society of Orofacial Pain: JSOP

日本口腔顔面痛学会は口腔や顔面部の痛みに関する臨床医学と基礎研究を推し進め、口腔顔面痛（原因不明の歯痛、三叉神経痛、顎関節症など）から苦しんでいる患者を救済することを目標としている学会です。会員（約 800 名）の多くは歯科医師であり、口腔生理学、歯科薬理学、口腔解剖学などの基礎研究者や口腔外科学、歯科麻酔学、一般臨床歯科医などの医療従事者から構成されています。本学会は日本における口腔顔面痛に関する医療の先端研究推進に向けて中核的役割を担っています。また、口腔顔面痛の基礎研究や臨床を推し進めている国際学会（IASP、IADR、AAOT、AAOP など）と連携し、国内外において口腔顔面痛に関する啓発活動、研究発表、情報発信などを積極的にを行っています。

日本ペインリハビリテーション学会

Japanese Association for the study of Pain Rehabilitation: JAPR

日本ペインリハビリテーション学会は、痛みとそれにとまなう身体的・精神心理的・社会的障害に対し、基礎・臨床研究ならびにリハビリテーションの臨床実践を通してそれらの改善、回復を目指す学会です。会員（約 300 名）は理学療法士と作業療法士が主ですが、加えて痛みのリハビリテーションに携わる多領域の医療専門職で構成されています。本学会は、本邦における痛みのリハビリテーションに関する先端研究を推進する重責を担っています。また、痛み患者にとって有益な評価・治療法の開発・発展、人材育成、社会啓発ならびに情報発信を積極的に進めています。

日本頭痛学会

The Japanese headache Society

日本頭痛学会の目的は、頭痛医療を向上させ、国民の健康、福祉増進に貢献することです。そのために頭痛医療に対する啓発、そして頭痛研究を推進し、頭痛の予防・治療を押し進めています。日本頭痛学会は、学術会議の開催、学術誌の発行に加え研究者、医療従事者の育成などの活動を行い、会員数は 2,500 人を越えています。また、頭痛専門医の育成および認定を行い、患者さんに分かりやすく、レベルの高い診療システム作りへの貢献を目指しています。さらに、次世代の頭痛医療者育成の「Headache Master School Japan」、そして患者さんと共に「頭痛医療を推進する患者と医療従事者の会」という活動も行っています。

日本痛み関連学会連合【役員】

- 代表 野口 光一 (日本疼痛学会・理事長)
- 副代表 飯田 宏樹 (日本ペインクリニック学会・代表理事)
矢吹 省司 (日本運動器疼痛学会・理事長)
- 監事 松香 芳三 (日本口腔顔面痛学会・理事長)
松原 貴子 (日本ペインリハビリテーション学会・理事長)
- 評議員 井関 雅子 (日本運動器疼痛学会)
今村 佳樹 (日本口腔顔面痛学会)
牛田 享宏 (日本疼痛学会)
坂野 裕洋 (日本ペインリハビリテーション学会)
紺野 慎一 (日本腰痛学会)
平川奈緒美 (日本ペインクリニック学会)
竹島多賀夫 (日本頭痛学会)
辰元 宗人 (日本頭痛学会)
田邊 豊 (日本慢性疼痛学会)
二階堂琢也 (日本腰痛学会)
細川 豊史 (日本慢性疼痛学会)

【事務局】

兵庫県西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学解剖学神経科学部門内
日本疼痛学会事務局内

目次

プログラム	1
ご挨拶	2
記念講演会	4
用語委員会報告	12
厚生労働省政策研究班報告	16
Webでの視聴方法について(視聴マニュアル)	19
新型コロナウイルス感染症予防対策とご協力をお願い	21
日本痛み関連学会連合 発足記念シンポジウム 健康確認書	22
会場アクセス	24
寄付・協賛企業	25
日本痛み関連学会連合 発足記念シンポジウム準備委員会	26

ペインクリニック —急性痛から慢性痛・がん性疼痛まで—

花岡 一雄

JR 東京総合病院 名誉院長
東京大学 名誉教授

痛みは病気の兆候の中でも最も多く、約 8 割の患者さんは痛みを主訴として受診すると言われ、遠い昔から医学・医療の原点でもある。現在では、痛みは血圧、脈拍、呼吸数、体温に続く第 5 のバイタルサインであり、患者さんを診察する上で痛みの有無、その程度にも関心を払うことが、診療上の義務としての機運が高まっている。麻酔科学講座が我が国で初めて開講されたのは東京大学医学部で 1952 年のことである。麻酔管理に基づく手技・技術の一つに痛みの制御があり、1962 年に麻酔科外来が創設された。これがペインクリニックの始まりとなった。また、麻薬を含む鎮痛薬の使用経験から緩和医療にも係わるようになった。近年、高齢化が進み、生活の質 (QOL) の向上のためにも、痛みからの解放は重要な関心事である。急性痛、慢性痛を問わずがん性疼痛に至るまで痛みの臨床家としての役割は大きい。



はなおか かずお
花岡 一雄

略 歴

- 1971 年 3 月 東京大学医学部医学科卒
- 1974 年 1 月 米国エール大学医学部麻酔科レジデント・フェロー
- 1988 年 7 月 東京大学医学部麻酔科助教授
- 1991 年 4 月 同教授
- 1995 年 4 月 東京大学総長補佐
- 1997 年 4 月 同大学院医学系研究科外科学専攻生体管理医学講座 麻酔学教授
- 2001 年 1 月 東邦大学医学部客員教授
- 2002 年 4 月 東京大学医学図書館長 東京大学医師会長
- 2005 年 4 月 JR 東京総合病院院長 東京大学客員教授
- 2006 年 4 月 千葉大学臨床教授 6 月 東京大学名誉教授
- 2011 年 7 月 JR 東京総合病院名誉院長
- 2021 年 4 月 東京八重洲クリニック名誉院長

学会等

- 公益社団法人日本麻酔科学会 名誉会員 初代理事長
- 一般社団法人日本ペインクリニック学会 名誉会員 初代表理事
- 日本レーザー治療学会 理事長
- 日本交通医学会 理事長
- 城西緩和ケア研究会 代表世話人
- 知覚痛覚研究会 代表世話人
- 日本慢性疼痛学会 名誉会員
- 日本疼痛学会 名誉会員
- 日本ニューロモデュレーション学会 名誉会員
- 日本漢方疼痛研究会 顧問
- 東京・南関東疼痛懇話会 理事
- 日本ペインクリニック・インターベンショナル研究会 顧問
- 鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウム 世話人
- 一般社団法人日本麻酔科医会連合 監事
- CRPS(Complex Regional Pain Syndrome) 研究会 世話人
- 日本医学会 評議員
- 一般社団法人日本医学会連合 評議員
- エピドラスコピー研究会 元代表世話人
- 術後痛研究会 元代表世話人

運動器の疼痛 —今とこれから—

菊地 臣一

一般財団法人日本いたみ財団 理事長
一般財団法人脳神経疾患研究所 常任顧問

首・腰・膝などの“運動器”に痛みがあると、我々は苦しみ、生活も著しく制限される。整形外科を中心とした運動器の痛みに対する治療では、投薬、リハビリテーション、神経ブロック、手術治療など病態に応じた対応が行われてきた。しかし、治療によっても病態が改善せず痛みが続くケースがあり、これらは身体の器質的な問題だけでは説明できないことが多い。我々は精神科医やその他の診療科医師、および医師以外のメディカル・スタッフと協力して行うリエゾンアプローチで難治性の痛み患者の分析や治療にあたる中で、臨床的な面から多くのことを学んできた。ただ、近年の基礎医学の進歩は、脳神経科学的な面や局所の分子メカニズムの面など新たな側面から運動器の痛みを解き明かしつつある。今後の発展と臨床に還元されることを期待している。



きくち しんいち
菊地 臣一

経 歴

- 1971年 福島県立医科大学卒業。
- 1977年 カナダ・トロント大学ウェールズリイ病院
クリニカルリサーチフェローとして留学
- 1980年 日赤医療センター整形外科 副部長
- 1986年 福島県立田島病院 院長
- 1988年 福島県立医科大学整形外科 講師
- 1990年 福島県立医科大学整形外科 教授
- 2006年 公立大学法人福島県立医科大学 副理事長 兼 附属病院長
- 2008年 公立大学法人福島県立医科大学 理事長 兼 学長
- 2017年 公立大学法人福島県立医科大学 常任顧問
ふくしま国際医療科学センター 常勤参与
- 2020年 福島県健康医療対策監
一般財団法人脳神経疾患研究所 常任顧問

専門分野は脊椎・脊髄外科。腰痛をライフワークとしている。

Basic Science からペイン・リハへ

仙波 恵美子

大阪行岡医療大学 特任教授
和歌山県立医科大学 名誉教授

人類社会は、「筋肉を使わない」方向に進んでおり、それとともに「慢性痛」や2型糖尿病などの生活習慣病が増えている。身体を動かさない生活習慣がその原因であることは明らかである。慢性痛の治療において、運動する生活習慣の獲得と筋力増強、すなわち「ペイン・リハビリテーション」の重要性が高まっている。慢性痛患者の脳では、側坐核 (NAc) を含む辺縁系の機能が低下している。運動習慣により、どのように脳機能が改善されるかということ、動物実験のデータをもとにお話する。脳報酬系の活性化による NAc の活性化、扁桃体基底外側核 (BLA) の活性化による積極的な行動選択が鍵を握っている。さらに、最近注目されている三大脳ネットワークの観点から、運動のペーシング、アドヒアランスについて考える。IASP のカウンセラーとして活動させていただいて学んだ世界の疼痛治療の現状と、日本の課題、今後の方向性についても言及したい。



せんば えみこ
仙波 恵美子

略 歴

- 1973年3月 大阪大学医学部卒業
- 1984年9月 カナダ・マニトバ大学医学部 留学 (～1986年7月)
- 2014年4月 和歌山県立医科大学医学部リハビリテーション科博士研究員 (～現在)
- 1973年7月 大阪大学医学部附属病院 内科研修医 (～1974年6月)
- 1975年9月 国立泉北病院神経内科レジデント (～1978年8月)
- 1979年4月 大阪大学医学部 基礎系医員 (～1980年2月)
- 1980年3月 大阪大学医学部 助手 (高次研解剖)
- 1984年1月 大阪大学医学部 講師 (高次研解剖)
- 1986年10月 大阪大学医学部 助教授 (第二解剖)
- 1991年4月 和歌山県立医科大学 医学部 教授 (第二解剖)
- 2014年4月 大阪行岡医療大学 教授 (医療学部 理学療法学科)
- 2019年4月 大阪行岡医療大学 特任教授 現在に至る

学会等

- 日本解剖学会 理事・監事 (1999～2015)、会員
- 日本疼痛学会 理事 (1994～2014)、名誉会員 (2014～現在)
- 日本自律神経学会 理事 (1998～2019)、名誉会員 (2019～現在)
- 日本運動器疼痛学会 会員 (2016～現在)
- 日本ペインリハビリテーション学会 顧問 (2017～現在)
- IASP (International Association for the Study of Pain) Member (1991～)、Councilor (2016～2020)

1973年に大阪大学医学部を卒業後6年間、内科・神経内科の臨床に従事する。1979年より基礎医学に移り、大阪大学医学部高次研解剖・第二解剖、和歌山県立医科大学第二解剖学教室で「痛み・ストレスの脳メカニズム」をテーマに神経解剖学の研究を続けてきた。1984年から1986年にはカナダ・マニトバ大学医学部 (生理学) に留学。2014年3月に和歌山県立医科大学 (教授) を定年退職した後は、同年4月より大阪行岡医療大学で教授として理学療法士養成の教育を行うとともに (2019年からは特任教授)、和歌山県立医科大学リハビリテーション医学の博士研究員として「運動療法が脳を活性化するメカニズム」について研究を続けている。

用語委員会報告

痛みの用語の共有とその普及を目指して

座長 井関 雅子 先生

(順天堂大学医学部麻酔科学ペインクリニック講座・教授、

日本痛み関連学会連合・評議員、日本運動器疼痛学会・副理事長)

講師 加藤 総夫 先生

(用語委員会・委員長 東京慈恵会医科大学・教授)

痛みの用語の共有とその普及を目指して

加藤 総夫

日本痛み関連学会連合用語委員会 委員長
東京慈恵会医科大学医学部 教授

この数年、痛みに関する新しい言葉・概念の提唱が続いている。医学技術の進歩にともなってブラックボックスであった痛みのメカニズムに関する科学的理解が進んできたこと、旧来の領域を超えた集学的な知見が国際的に蓄積されてきたこと、そして、患者さんを含む一般の人たちと医療関係者の交流が積極的に広められてきたことなどがその背景にある。

日本痛み関連学会連合の用語委員会は、最新の医科学の成果を踏まえ、専門家と社会で広く用いられうる、共通の痛み関連用語の定義・用法を提言することを目的として設置された。医療関係者から患者さんを含む一般市民の間で、痛みに関する言葉が共有されて対話が促されることによって、誤解や混乱が避けられるとともに、多くの分野のさまざまな立場の力を合わせた取り組みがさらに推進されると期待される。国際的に新たに提言されてきた用語・概念を解説し、本連合が提言する日本語の用語を紹介したい。



かとう ふさお
加藤 総夫

略 歴

- 1984年 東京大学大学院薬学系研究科修了
- 1984年 東京慈恵会医科大学第2薬理 助手
- 1993年 仏 CNRS 神経生物学研究所 研究員（～1995年）
- 1995年 仏ストラスブール大学 外国人教授（～1998年）
- 2001年 英シェフィールド大学 招待研究員
- 2001年 東京慈恵会医科大学神経生理学研究室 室長、准教授
- 2005年 東京慈恵会医科大学神経生理学研究室 教授
- 2012年 東京慈恵会医科大学神経科学研究部 部長
- 2014年 東京慈恵会医科大学痛み脳科学センター センター長などを務め現在に至る。

学 位

薬学博士、医学博士

主な社会的活動

- 日本学術会議 第24期・25期連携会員（2018～）
- 厚生労働省薬事薬品食品審議会第一部会 委員（2009～2017）
- 日本医学会（日本医学会連合） 評議員（2009～2015）
- 日本疼痛学会 理事（2014～）
- 日本生理学会 副理事長（2012～2016）、監事（2016～2018）、理事（2018～）
- 日本自律神経学会理事（2013～）
- 日本薬理学会学術評議員（1991～）
- 日本脳科学関連学会連合評議員（2012～）
- 国際疼痛学会 Pain Research Forum 編集委員（2018～2020）
- 国際疼痛学会デジタル戦略・コンテンツ委員（2018～）
- Frontiers in Pain Research, Associate Editor(2020～), Molecular Pain, Deputy Editor(2014～)

厚生労働省政策研究班報告

「慢性疼痛診療ガイドライン」について

座長 牛田 享宏 先生

(愛知医科大学医学部学際的痛みセンター・教授、
日本痛み関連学会連合・評議員、日本疼痛学会・理事)

講師 矢吹 省司 先生

厚生労働行政推進調査事業費補助金
(慢性の痛み政策研究事業)

「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療
データベースの活用による医療向上を目指す研究」研究班
代表 福島県立医科大学・教授

「慢性疼痛診療ガイドライン」について

矢吹 省司

厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）
「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの
活用による医療向上を目指す研究」研究班 代表
福島県立医科大学保健科学部 教授・学部長

2021年6月に「慢性疼痛診療ガイドライン」（本ガイドライン）が発刊されました。本ガイドラインには、日本運動器疼痛学会、日本口腔顔面痛学会、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会、日本頭痛学会、全日本鍼灸学会、そして日本線維筋痛症学会、計10学会の代表が参加しています。All Japanで、広く深い慢性疼痛に関するガイドラインを作成できたのではないかと考えています。本ガイドラインでは、エビデンスを重視しました。さらに、推奨度を決定する会議では、日本の現状に合ったガイドラインにするよう努力しました。読者の皆様には、エビデンスや推奨度だけをみて終わりにしないで、是非 answer と解説まで読んでいただき、その上で何が一番患者に適切な治療なのかを考えていただければありがたいです。



やぶき しょうじ
矢吹 省司

略 歴

- 1987年 福島県立医科大学卒業、同整形外科入局
- 1993年 福島県立医科大学 助手
- 1994年 Sweden Gothenburg（ヨーテボリ）大学留学
- 1995年 福島県立喜多方病院整形外科 医長
- 1997年 California 大学 San Diego 校 客員教授
- 2001年 福島県立医科大学整形外科 講師
- 2007年 福島県立医科大学医学部 准教授、附属病院リハビリテーションセンター 部長（2014年6月まで）
- 2011年 福島県立医科大学医学部整形外科 教授
- 2015年 福島県立医科大学医学部疼痛医学講座 教授（寄付講座）兼務
- 2016年 副理事、新医療系学部設置準備室 室長（2021年3月まで）
- 2019年 厚生労働省政策研究班「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究」研究班 班長
- 2021年 福島県立医科大学保健科学部 学部長

Webでの視聴方法について（視聴マニュアル）

1. 視聴環境について

PC、スマートフォン・タブレットで視聴が可能です。

- PCの場合、通常使用している Web ブラウザからの視聴及び、Zoom アプリでの視聴が可能です。

※ 使用が推奨されているブラウザ

- 🔗 Microsoft Edge（マイクロソフトエッジ）
- 🔗 Google Chrome（グーグルクローム）
- 🔗 Firefox（ファイヤーフォックス）

- スマートフォン・タブレットの場合、事前に Zoom アプリをダウンロードする必要があります（iOS の場合：App Store、Android の場合：Google Play ストアからダウンロードください）。
- 通信にかかる費用は自己負担となります。また、大量のデータ通信が発生するため、スマートフォン・タブレットを使用される場合は、Wi-Fi 環境でのご利用をおすすめします。
- 旧バージョンの Zoom アプリでは視聴できないケースがあるため、最新の Zoom アプリのダウンロードをおすすめします。

2. 事前登録について

< PC・スマートフォン・タブレット共通 >

事務局よりお送りする招待メール（9月下旬以降に送信予定）の【事前登録 URL】から Zoom ウェビナーへの事前登録を行ってください。

○入力いただく情報

- 氏名
 - メールアドレス：入力いただいたアドレスに視聴 URL が送付されます。
「登録」ボタンより登録完了画面へ移動し、講演会の視聴 URL が記載されたメールが送信されます。
- ※ 「私はロボットではありません」が表示された場合は、チェックを入れてください。

3. 当日の視聴手順について

< PC での視聴手順 >

○通常使用しているブラウザから視聴する場合(PCに Zoom アプリをインストールしていない場合)

- ① 事前登録完了のメールから「ミーティングに参加」をクリックし、視聴 URL へ移動。
- ② 「ミーティングを起動」をクリック。
- ③ 2 行下に表示された「ブラウザから参加してください」をクリック。
- ④ 「お名前」欄に氏名を入力し、「参加」をクリック。 ※ 「私はロボットではありません」が表示された場合は、チェックを入れてください。
- ⑤ 本講演会が配信される Zoom ウェビナーに接続されます。

○ PC に Zoom アプリがインストールされている場合

- ① 事前登録完了のメールから「ミーティングに参加」をクリックし、視聴 URL へ移動。
- ② 「Zoom Meetings を開きますか？」が表示されるので「Zoom Meetings を開く」をクリック。

< スマートフォン・タブレットでの視聴手順 >（iOS の場合）

- ① 事前登録完了のメールから「ミーティングに参加」をクリックし、視聴 URL へ移動。
- ② 「" Zoom " で開きますか？」が表示されるので「開く」を選択。
- ③ Zoom アプリが起動し、本講演会が配信される Zoom ウェビナーに接続されます。

< スマートフォン・タブレットでの視聴手順 >（Android の場合）

- ① 事前登録完了のメールから「ミーティングに参加」をクリックし、視聴 URL へ移動。
- ② 「アプリで開く」から「Zoom」を選択（お使いの端末によって表示が異なる場合があります。「Zoom で開く」「Zoom を使用」など、Zoom アプリが起動するボタンを選択ください）。
- ③ Zoom アプリが起動し、本講演会が配信される Zoom ウェビナーに接続されます。

4. その他

講演会当日、Zoom ウェビナーの配信開始後に登録する場合、【事前登録 URL】へ進んだ後、情報を入力の上、「開催中のウェビナーに参加する」ボタンをクリックしてください。以降の手順は「3. 当日の視聴手順」と同一です。

【禁止事項】

1. 講演のすべてまたは一部を不正に電磁機器にデジタル情報として保存する行為。
例) 画面のスクリーンショット、画面録画などの保存。
2. 講演で用いられた動画ファイル、PDF ファイルの不正取得・不正印刷する行為。
例) 不正なソフトを用いて強制的にファイルをダウンロードする・印刷するなど。
3. 講演で発表された数値データやアイデアを不正に他で公表する行為。
例) スライドを撮影して自分の講演で披露すること、SNS でスクリーンショットをアップして紹介することなど。
4. チャット内や SNS などに講師やその他の方の個人情報を書き込む行為。
例) 講演内容から推察して症例の転院先を書き込む、連絡のために E-mail を書き込むなど。
5. チャット内や SNS などに人格を否定するような誹謗中傷・非難、特定の人物・組織の信用を失墜させるような書き込み等を行う行為。
例) ○○は馬鹿だ、△△は気に入らない。
※なお、発表中のチャット内や SNS では絶対に誹謗中傷をしないようにしてください。
6. その他、学術大会に関わらない情報をチャット内や SNS などに書き込む行為。
例) コマーシャルのための説明・URL、個人的連絡事項。

※本シンポジウムで配信する動画の著作権は日本痛み関連学会連合に帰属します。万が一、他の Web 上コンテンツ等への無断の転載等を発見した場合、法的措置を行います。

新型コロナウイルス感染症予防対策とご協力のお願い

日本痛み関連学会連合では、本シンポジウムの開催に際して皆様が安心してご参加いただけるよう、対策を講じてまいります。ご来場の皆さまには以下、感染症予防対策へのご協力をお願いいたします。

1. ご来場に際してのお願い

- ① 新型コロナウイルス感染症を示唆する以下の項目にあてはまる方はご来場をお控えください。
 - 息苦しさや強いだるさ、高熱など強い症状のある方。
 - 発熱が続いている方。
 - 咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻詰、味覚・嗅覚障害、下痢、吐気・嘔吐の症状のある方、体調が思わしくない方。
 - 保健所から健康観察対象となっている方が身近にいる方。
 - 過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への来訪歴がある、または当該在住者との濃厚接触がある方。

※ 当日は右ページの「健康確認書」を受付にご提出ください。
- ② 小川講堂には、開場前に安心してお待ちいただける広いスペースがございません。ご入場前の混雑回避のため、開場時刻前のご来場は固くお断りします。
- ③ 会場入口にて非接触式体温計による検温を実施しております。37.5度以上の発熱があった場合にはご入場をお断りさせていただきます。
- ④ マスクを着用されていない方はご入場いただけません。会場内では常時着用をお願いします。
- ⑤ 感染者が発生した場合、保健所等の公的機関の要請に応じて参加者情報を提供させていただきます。
- ⑥ 館内は十分な換気を行うため、室温が適温にならない可能性がございます。寒暖対応のできる服装や対策をしてご来場ください。

2. 会場でのお願い

- ① ご来場、また化粧室ご利用などの際は、周りの方々と十分な距離（1m以上、可能な限り2m）を確保したうえで行動いただきますよう、ご協力をお願いします。
- ② こまめな手洗い、手指消毒にご協力ください。会場入口にアルコール消毒液を設置しております。
- ③ 座席については前後左右の間隔を設けた配置となっております。参加者同士の間隔を確保し、会場内での会話は極力お控えください。
- ④ ご使用済みのマスクはお持ち帰りください。
- ⑤ 体調を崩された場合は、すみやかに近隣のスタッフまでお申し出ください。
- ⑥ 終了後はお帰りの誘導をさせていただく場合がございます。密集しないよう、周りの方々と十分な距離（1m以上、可能な限り2m）を確保した上でご退出ください。

ウイルスの感染予防および拡散防止のため、皆さまのご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

日本痛み関連学会連合 発足記念シンポジウム 健康確認書

新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、会場へ来場される場合には、健康状態の申告にご協力をお願いいたします。

※現地でご参加されます方は健康確認書、ワクチン接種記録書の提出が必須となります。提出は、受付にございます、健康確認書回収用のボックスまでお願いいたします。

来場時の状況をご回答ください。該当に「○」をつけてください。

- | | | | | |
|----------------------------------|----|---|-----|---|
| ① 37.5度以上の発熱がある | はい | ・ | いいえ | |
| ② 咳、咽頭痛、強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある | はい | ・ | いいえ | |
| ③ 嗅覚異常や味覚異常がある | はい | ・ | いいえ | |
| ④ 同居家族に上記①②③の症状がある | はい | ・ | いいえ | |
| ⑤ 新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触がある | はい | ・ | いいえ | |
| ⑥ 過去14日以内に海外に行った、海外の在住者と濃厚接触があった | はい | ・ | いいえ | |
| ⑦ 連絡先電話番号 | (| - | - |) |

新型コロナワクチン 予防接種

2回目 接種日 年 月 日

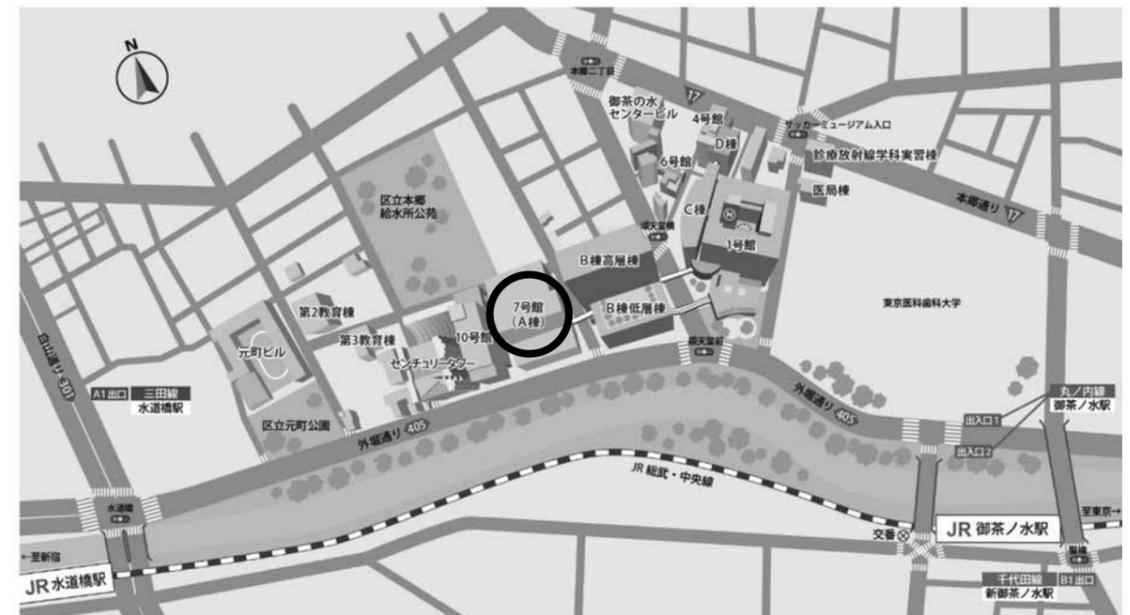
氏名

- 本健康確認書は日本痛み関連学会連合 発足記念シンポジウムの開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として参加者の健康状態を確認することを目的としています。
- ご記入いただいた個人情報は、参加者の健康状態の把握、来場参加可否の判断および必要な連絡のために使用いたします。
- 法令において認められた場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。
- 感染が疑われる参加者・運営関係者が報告された場合には、保健所等の公的機関の要請により、個人情報を含む必要な情報を提供する場合がございます。予めご了承ください。

会場アクセス

【会場】

順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス（本部）
7号館（A棟）地下1階 小川講堂
〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号
URL：<https://www.juntendo.ac.jp/access/>



【最寄駅からのアクセス】

J R 線「御茶ノ水」駅下車（御茶ノ水口）：徒歩7分
東京メトロ（丸ノ内線）「御茶ノ水」駅下車：徒歩7分
東京メトロ（千代田線）「新御茶ノ水」駅下車（B1出口）：徒歩9分
J R 線「水道橋」駅下車（東口）：徒歩8分
都営地下鉄（三田線）「水道橋」駅下車（A1出口）：徒歩8分

寄付・協賛企業

【寄付】

富士フィルムメディカル株式会社
久光製薬株式会社
ムンディファーマ株式会社
科研製薬株式会社
エクスターメディカル株式会社
ポストン・サイエンティフィック
ノーベルファーマ株式会社
グラクソ・スミスクライン株式会社

【協賛】

第一三共株式会社
ヴィアトリス製薬株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本臓器製薬株式会社
塩野義製薬株式会社
アムジェン株式会社
日本メドトロニック株式会社
大塚製薬株式会社
真興交易株式会社
克誠堂出版株式会社
株式会社三輪書店

日本痛み関連学会連合 発足記念シンポジウム 準備委員会

準備委員長

井関 雅子（日本運動器疼痛学会、順天堂大学 医学部 麻酔科学・ペインクリニック講座）

準備委員

牛田 享宏（日本疼痛学会、愛知医科大学 医学部 学際的痛みセンター）

松原 貴子（日本ペインリハビリテーション学会、神戸学院大学 総合リハビリテーション学部）

準備・運営事務局

坂野 裕洋（日本ペインリハビリテーション学会、日本福祉大学健康科学部）

井上 雅之（日本ペインリハビリテーション学会、愛知医科大学 医学部 学際的痛みセンター）

楠本 智子（日本痛み関連学会連合事務局、日本疼痛学会事務局）

内藤 理恵（日本いたみ財団事務局）

ヘルスケアにおける進化は「道」なき「未知」なのでしょうか？

私たちは

知っています

その

みちすじを

ヴィアトリスは、革新的な製品ソリューションと最先端の製造、供給、流通でヘルスケアに変革を起こし、患者さんが高品質で信頼性の高い医薬品にアクセスできるように貢献します。世界中の誰もが健康で生きられるよう貢献することが私たちの使命です。

詳細については、こちらから
<https://www.viatris.com/ja-jp>



誰もがより健康に生きられるよう貢献します

※ヴィアトリスは、米国マイラン社と米国ファイザー社アップジョン事業部門の統合により誕生した新しいタイプのヘルスケア企業です。

Lilly

TIME TO RESPECT MIGRAINE

**世界中の人々のより豊かな人生のために、
思いやりを込めて**

片頭痛は、周囲にその「つらさ」が気づかれにくく、
これまで誤解され続けてきました*。

イーライリリーは、片頭痛患者さんが妥協することなく、
より自分らしく生きられるようになる社会を目指します。

*出典：Parikh SK & Young WB. Current Pain and Headache Reports 2019; 23:8

THE MIGRAINE  TRUTH

The True Faces, Science and Burden of Migraine

日本イーライリリー株式会社
<https://www.lilly.co.jp/>



アムジェン株式会社 **AMGEN**[®]

To serve patients

患者さんのために、今できるすべてを

アムジェンは1980年、バイオテクノロジーの黎明期に
米国カリフォルニア州ロサンゼルス近郊にて産声を上げました。
バイオテクノロジーを患者さんのために役立てることを決意し、
以来、探求を重ねてきました。
40年を経た現在、アムジェンは世界最大規模の
独立バイオテクノロジー企業へと成長しました。
日本では、循環器疾患、がん、骨疾患、炎症・免疫性疾患、
神経疾患の領域に重点を置き、
アンメット・メディカルニーズに応える製品開発を進めています。

アムジェン株式会社の
詳細につきましては
こちらをご覧ください



明日の笑顔を

脊髄刺激療法で耐え難い痛みを和らげ、
「明日の笑顔」を取り戻していただきたい。
それが私たちメドトロニックの願いです。

日本メドトロニック株式会社
ニューロモデュレーション
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70
Tel. 03-6776-0017

medtronic.co.jp

© 2016, 2021 Medtronic. Medtronic、メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。

Medtronic



生薬には、
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



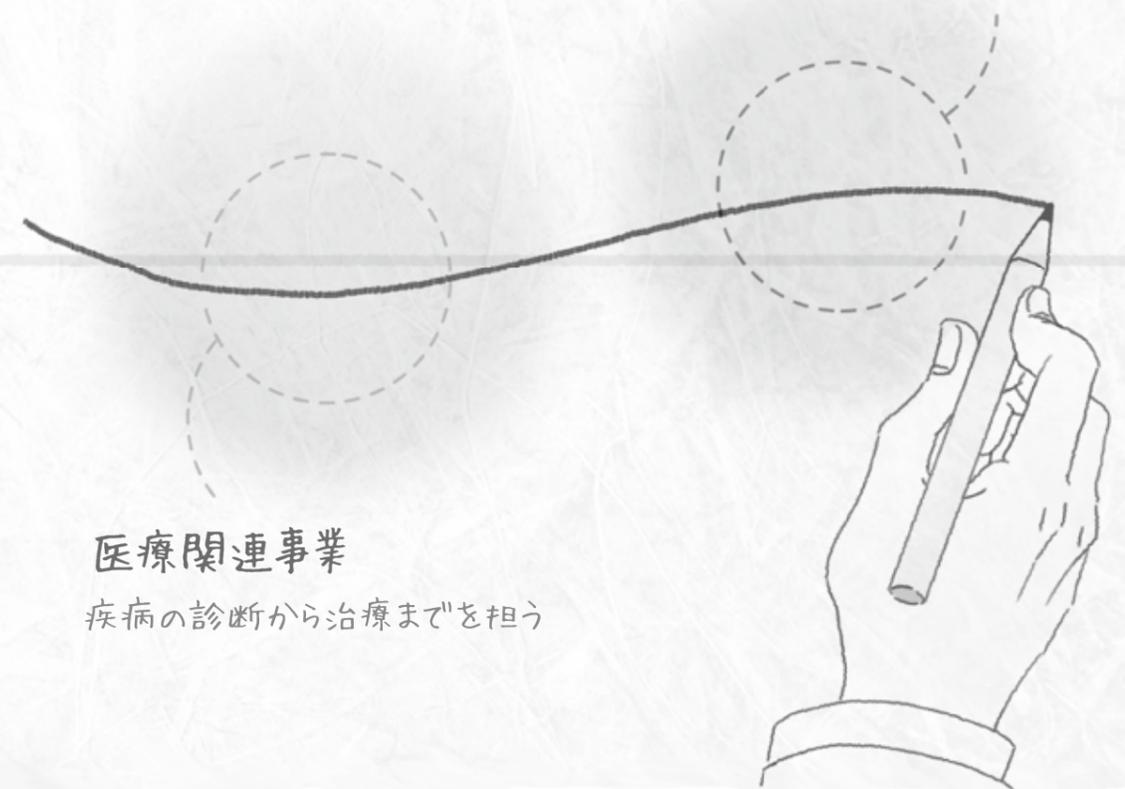
Otsuka-people creating new products for better health worldwide

両輪で身体全体を考える

世界の人々の健康に貢献する
トータルヘルスケアカンパニーを目指します

ニュートラシューティカルズ関連事業

日々の健康維持・増進をサポートする



医療関連事業

疾病の診断から治療までを担う



慢性疼痛診療 ガイドライン

最新刊

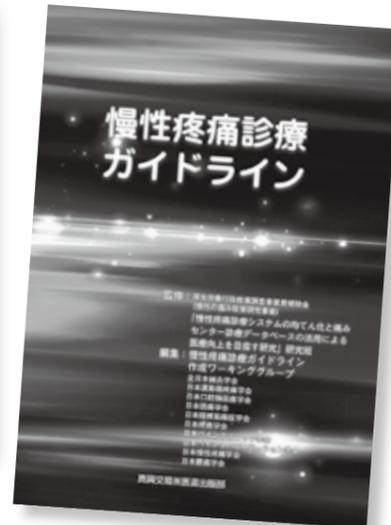
監修：厚生労働行政推進調査事業費補助金〔慢性の痛み政策研究事業〕
「慢性疼痛診療システムの均てん化と痛みセンター診療データベースの活用による
医療向上を目指す研究」 研究班

編集：慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループ
B5判・280頁・定価3,960円（本体3,600円+税10%） ISBN 978-4-88003-939-8

慢性疼痛は国家の経済にも影響を与える疾患（病態）となっており、各国でその対策が急がれている。本邦でも、厚生労働研究班の監修の下に、2018年に「慢性疼痛治療ガイドライン」が発行され、大きな反響を呼んだ。今回はその改訂版となる。先の痛み関連学会7学会（日本運動器疼痛学会、日本口腔顔面痛学会、日本疼痛学会、日本ペインクリニック学会、日本ペインリハビリテーション学会、日本慢性疼痛学会、日本腰痛学会）に、新たに全日本鍼灸学会、日本頭痛学会、日本線維筋痛症学会が加わり、10学会のメンバーがワーキンググループを作り、企画・執筆・編集にあたり、まさに All Japan 総意のガイドラインとなった。

本ガイドラインは、「Minds」の考えに則り、実臨床に即したガイドラインとするため、現在、本邦で施行されている主な治療法について、CQを設定して解説し、各項目ごとに推奨度、エビデンスレベル、検索式を記載した。また、慢性疼痛の主な疾患別の項目を設けた。

本ガイドラインの読者として、医師だけではなく、痛み診療に関わるすべての医療従事者を想定している。是非、臨床の現場で役立てていただきたい。



本書の内容

A. 総論

CQ A-1：慢性疼痛とはどのような病態（定義）か？
～CQ A-5：慢性疼痛治療にプラセボ効果はあるのか？

B. 診断・評価

CQ B-1：慢性疼痛の診断・評価に関する注意点は？
～CQ B-11：心理社会的評価は慢性疼痛に有用か？

C. 薬物療法

CQ C-1：非ステロイド性抗炎症薬は慢性疼痛に有用か？
～CQ C-13：漢方薬は慢性疼痛に有用か？

D. インターベンショナル治療（神経ブロック）

CQ D-1：硬膜外ブロックは慢性疼痛に有用か？
～CQ D-9：関節内注射は慢性疼痛に有用か？

E. インターベンショナル治療（低侵襲手術・整形外科治療）

CQ E-1：椎間板内治療は慢性疼痛に有用か？
～CQ E-5：手術療法は絞扼性末梢神経障害に伴う慢性疼痛に有用か？

F. 心理的アプローチ

CQ F-1：心理教育は慢性疼痛に有用か？
～CQ F-8：漸進的筋弛緩法は慢性疼痛に有用か？

G. リハビリテーション

CQ G-1-1：一般的な運動療法は慢性疼痛に有用か？
～CQ G-5-3：膝装具は変形性膝関節症による慢性膝関節痛に有用か？

H. 統合医療

CQ H-1：鍼灸治療は慢性疼痛に有用か？
～CQ H-2：マッサージは慢性疼痛に有用か？

I. 集学的治療

CQ I-1：集学的治療の定義は？
～CQ I-5：慢性疼痛に対する集学的治療の費用対効果についてのエビデンスにはどのようなものがあるか？

J. 慢性腰痛

CQ J-1：腰痛の定義はどのようなものか？
～CQ J-9：患者教育および心理行動学的アプローチは慢性腰痛に有用か？

K. 変形性膝関節症

CQ K-1：変形性膝関節症はどのような病態か？
～CQ K-4：人工膝関節置換術は保存療法が無効で病期が進行した変形性膝関節症に有用か？

L. 肩こり

CQ L-1：肩こりはどのような病態か？
～CQ L-6：肩こりの予防に有用な方法はあるか？

M. 口腔顔面痛

CQ M-1：慢性口腔顔面痛の分類は？～CQ M-4-4：薬物療法以外の治療法は持続性特発性歯痛に有用か？

N. 頭痛

CQ N-1：頭痛はどのように分類されるか？～CQ N-5-3：鍼灸は慢性片頭痛、慢性緊張型頭痛に有用か？

O. 帯状疱疹関連痛

CQ O-1：帯状疱疹とはどのような病態か？～CQ O-8：脊髄刺激療法（SCS）は帯状疱疹後神経痛に有用か？

P. 有痛性糖尿病性神経障害

CQ P-1：有痛性糖尿病性神経障害とはどのような病態か？
～CQ P-7：脊髄刺激療法（SCS）は難治性有痛性糖尿病性神経障害に有用か？

Q. 線維筋痛症

CQ Q-1：線維筋痛症とはどのような病態か？
～CQ Q-7：集学的治療は線維筋痛症に有用か？

URL <http://www.kokuseido.co.jp>

書籍のご案内

麻酔からの美しい覚醒と抜管

編/新山幸俊

「美しい覚醒・抜管」を目指すためのエビデンスに裏打ちされた麻酔科医待望の書！

総論6テーマ（鎮静／鎮痛／筋弛緩薬など）+実践のための18のCase Scenarioにより解説。
B5判 232頁 定価6,820円（本体6,200円+税10%） ISBN 978-4-7719-0545-0

PBLで学ぶ安全な中心静脈穿刺

著/中澤春政・渡辺邦太郎・徳嶺譲芳

どのようにして致死性の合併症を回避するのか？ 事故を未然に防ぐ知識と技術を問題形式で学べる書（動画付き）。

A5判 152頁 定価4,950円（本体4,500円+税10%） ISBN 978-4-7719-0549-8

高齢者麻酔のポイント50

監/小坂橋俊哉、編/川口昌彦・川股知之

高齢者にかかわるすべての麻酔科医へ。高齢患者の周術期をトラブルなく乗り切り、社会復帰させるための1冊。

A5判 208頁 定価6,050円（本体5,500円+税10%） ISBN 978-4-7719-0550-4

Q&A形式で学ぶ 周術期気道・呼吸管理の基礎と実際 —周術期呼吸管理のエキスパートへ—

監/山田芳嗣、編/倉橋清泰・内田寛治

エビデンスを提示しながら解説。

B5判 403頁 定価9,680円（本体8,800円+税10%） ISBN 978-4-7719-0551-1

すっきりフローチャートで学ぶ小児の麻酔

監/川名 信、編/五十嵐あゆ子

小児麻酔の入門書。基本的な疾患や病態を取り上げエキスパートの思考過程を簡便なフローチャートに！

B5判 80頁 定価3,300円（本体3,000円+税10%） ISBN978-4-7719-0539-9

Clear Q&A 88 筋弛緩薬を知りつくす（改訂第2版）

著/鈴木孝浩

お待ちせしました。好評書の改訂版がついに完成！さらにボリュームアップして、より分かりやすく進化しました。麻酔科医の座右の書です！！

B5判 234頁 定価6,490円（本体5,900円+税10%） ISBN 978-4-7719-0538-2

第59回（2020年度） 麻酔科専門医認定筆記試験問題解説集

編/麻酔科専門医試験対策研究会

B5判 284頁 定価4,840円（本体4,400円+税10%） ISBN 978-4-7719-0548-1

三輪書店 好評書のご案内

ペインリハビリテーション入門



著 沖田 実

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科運動障害リハビリテーション学分野)

松原 貴子

(神戸学院大学大学院総合リハビリテーション学研究科生体機能・病態解析学分野)

好評書

「痛み」の理解と的確なアプローチのために、
おさえておきたいポイントと最新の動向をビギナーにもわかりやすく解説！

はじめに「痛み」を理解するための必須知識である痛みの多面性と発生メカニズムを豊富なイラストでわかりやすく解説。末梢から神経系まで、最新の知見をふまえた「痛み」の基本が習得できます。次のステップでは、臨床現場でよく使用する評価票を取り上げながら、痛みのリハビリテーション評価で押さえておくべきポイントが効率よく学べ、痛みの評価の全体像が把握できます。痛みのマネジメントでは“急性痛”と“慢性疼痛”に分けて解説し、痛みから波及するさまざまな問題について、物理療法、運動療法や認知行動療法、薬物療法をふまえたアプローチ方法が身につきます。

巻末には、痛みのリハビリテーション評価でよく使用する評価票や専門用語の解説を収録し、付録も充実しています。



● 定価 (本体 3,500 円+税)
B5 168 頁 2019 年
ISBN 978-4-89590-634-0

■ おもな内容

Chapter1 痛みの理解

1. 痛みの定義・概念
2. 痛みの神経生理学
3. 痛みの発生メカニズム

Chapter2 痛みの評価

1. 痛みのリハビリテーション評価の考え方
2. 感覚評価
3. 身体機能・活動評価
4. 情動・認知評価
5. 社会的・QOL評価

Chapter3 痛みのマネジメント

1. 急性痛に対するリハビリテーション
2. 慢性疼痛に対するリハビリテーション
3. その他のマネジメント

付録 痛みのリハビリテーションでよく使用する評価票

- 感覚 (痛みの性質) 評価
MPQ / SF-MPQ / SF-MPQ-2
- 身体機能・活動評価
PDAS / BPI / JOACMEQ / NDI (痛みとしびれ版) / NDI (痛み版) / JOABPEQ / RDQ / ODI / WOMAC Osteoarthritis Index / JHEQ / JKOM/FIQ / HAQ / IPAQ
- 情動・認知評価
HADS / BS-POP / PCS / FABQ / TSK / PSEQ
- 社会的・QOL 評価
EQ-5D / EQ-5D-5L / SIP

用語解説
索引

COLUMN

- ・痛みの疫学
- ・さまざまな慢性疼痛 (ICD-11 より)
- ・侵害受容に關与するさまざまな受容体
- ・ゲートコントロール理論
- ・wind-up 現象とLTP 現象
- ・中枢神経のグリア (神経膠) 細胞
- ・関連痛
- ・RDQ の標準値
- ・JOABPEQ の結果表記
- ・国際疼痛学会 (IASP) による最新のリハビリテーション評価ポイント
- ・各種物理療法の生理学的作用とその効果
- ・アドヒアランスの障壁要因

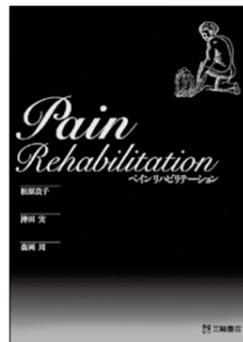
■ 「痛み」を訴えるヒトの前で、セラピストができる最良の治療とは何か？

ペインリハビリテーション

松原 貴子・沖田 実・森岡 周

● 定価 (本体 4,200 円+税) A5 450 頁 2011 年
ISBN 978-4-89590-385-1

好評書



近年、リハビリテーション医療者は痛み治療において最も期待され、注目を浴びている。しかし、星の数ほどある痛みの書の中で、リハビリテーションを中心に整理されたものは皆無である。痛みを苦しむ人に向き合うためには、正しい知見のもとに治療を行う必要がある。そこで、当代きっての研究者らが、それぞれの専門領域の立場からペインリハビリテーションの基礎と臨床に役立つ評価・治療についてわかりやすく解説した。



お求めの三輪書店の出版物が小売書店にない場合は、その書店にご注文ください。お急ぎの場合は直接小社に。



三輪書店

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル
編集 ☎03-3816-7796 ☎03-3816-7756 販売 ☎03-6801-8357 ☎03-6801-8352
ホームページ: <https://www.miwapubl.com> E-mail: info@miwapubl.com



Hisamitsu®



久光製薬株式会社

九州本社：〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地

東京本社：〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号

<https://www.hisamitsu.co.jp/>



人がしないことに、
挑戦する製薬会社。

ムンディファーマ



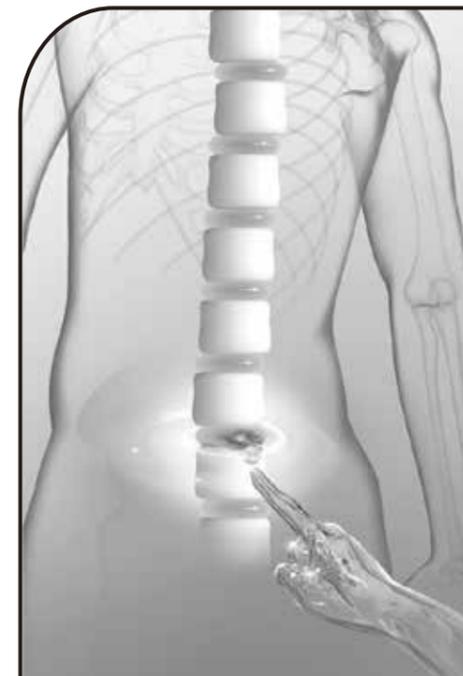
関節機能改善剤

〔処方箋医薬品〕 注意—医師等の処方箋により使用すること

日本薬局方 精製ヒアルロン酸ナトリウム注射液

アルツディスポ[®] 関節注25mg

〔製造販売元〕 生化学工業株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目6-1



腰椎椎間板ヘルニア治療剤

〔処方箋医薬品〕 注意—医師等の処方箋により使用すること

ヘルニコア[®]

椎間板注用1.25単位

注射用コンドリナーゼ

〔製造販売元〕 生化学工業株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目6-1

- 各製品の効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。
- 各製品共、薬価基準収載

発売元〔文献請求先及び問い合わせ先〕

 科研製薬株式会社

〒113-8650 東京都文京区本駒込2丁目28-8 医薬品情報サービス室

2AHO2BK
(2020年12月作成)



医療の未来の為に

We make an effort for the future of the medical treatment.

EX エクスター・メディカル(株)

〒963-8862 福島県郡山市菜根1丁目22番10号
 TEL.024-991-9070 FAX.024-991-9069
<http://www.exster-medical.info/index.php>

Nobelpharma
 ノーベルファーマ株式会社

必要なのに顧みられない医薬品・医療機器の提供を通して、
 社会に貢献する



光線力学診断剤 薬価基準収載
アラベル®内用剤 1.5g
 Alabel® Oral 1.5g
 アミノレブリン酸塩酸塩
製造販売元〔資料請求先〕
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 処方箋医薬品^(注2)

抗けいれん剤 薬価基準収載
ノーベルバル®静注用 250mg
 NOBELBAR® 250mg for Injection
 フェノバルビタールナトリウム凍結乾燥製剤
製造販売元〔資料請求先〕
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 創薬、向精神薬、習慣性医薬品^(注1)、処方箋医薬品^(注2)

抗悪性腫瘍剤 薬価基準収載
ギリアデル®脳内留置用剤 7.7mg
 Gliadel® 7.7mg Implant
 カルムスチン脳内留置用剤
製造販売(輸入)元〔資料請求先〕
 エーザイ株式会社
 東京都文京区小石川4-6-10
 販売提携
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 創薬、処方箋医薬品^(注2)

抗けいれん剤 薬価基準収載
ホストイン®静注 750mg
 Fostoin® 750mg for Injection
 ホスフェニトインナトリウム注射液
販売元〔資料請求先〕
 エーザイ株式会社
 東京都文京区小石川4-6-10
 製造販売元
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 創薬、処方箋医薬品^(注2)

ウィルソン病治療剤(銅吸収阻害剤)、低亜鉛血症治療剤 薬価基準収載
ノベルジン®錠 25mg・50mg
 NOBELZIN® Tablets 25mg・50mg
 酢酸亜鉛水和物製剤
ノベルジン®顆粒 5% 発売準備中
 NOBELZIN® Granules 5%
 酢酸亜鉛水和物製剤
製造販売元〔資料請求先〕
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 創薬、処方箋医薬品^(注2)

結節性硬化症に伴う皮膚病変治療剤(mTOR阻害剤) 薬価基準収載
ラパリムス®ゲル 0.2%
 Rapalimus® Gel 0.2%
 シロリムス外用ゲル剤
製造販売元〔資料請求先〕
 ノーベルファーマ株式会社
 東京都中央区新川1-17-24
 創薬、処方箋医薬品^(注2)

注1) 注意—習慣性あり 注2) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告」、「禁忌」、「重要な基本的注意」等については、製品添付文書をご参照ください。

ノーベルファーマ医療関係者向けサイト <https://nobelpark.jp>

2021年6月作成

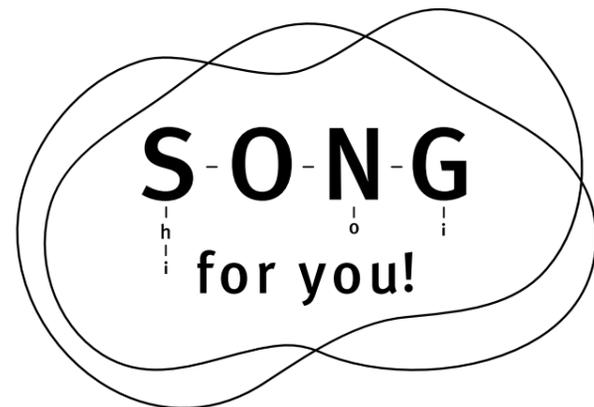
シオノギには
SONGがあります。



歌には、人を癒すチカラがあります。
くすりも歌のように、人を励まし、勇気づけ、
笑顔にするチカラがあります。

私たちは、くすりを通して
世界中の人々の健康に奉仕できるよう、
代謝性疾患・感染症・疼痛などの
疾患領域を中心に、
研究開発から製品情報の提供まで、
日々努力を続けています。

すべての人々の
クオリティ・オブ・ライフの向上をめざして。
SONG for you! シオノギです。



使いたくなる薬を
より多くの人に

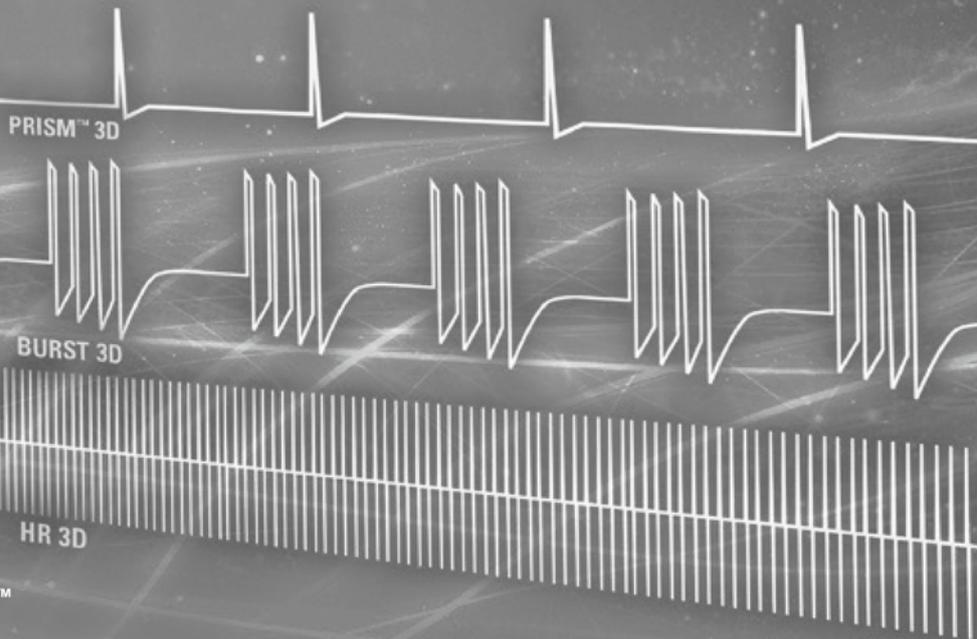
2019年の創立80周年を機に、「使いたくなる薬をより多くの人に」という
新たな経営理念を策定しました。

患者様やお医者様が「是非使いたい」と切望される医薬品の研究開発を
徹底し、より多くの人にお届けすることで、人々の健康に貢献する
製薬会社としてさらなる進化を目指していきます。

PRECISION MONTAGE™ MRI

Spinal Cord Stimulator System

Full-Body MRI. Multiple Waveforms.



POWERED BY ILLUMINA 3D™

Precision Montage™ MRIは
1.5TのMRI全身撮像を行うことができます。
患者様のニーズに合わせて刺激パラメーターを調整し、
より適切な治療を提供することが可能です。



Illumina 3D™ Programming

販売名：プレジジョン モンタージュ MRI SCS システム
医療機器承認番号：22800BZX00124000
販売名：プレジジョン スペクトラ SCS システム
医療機器承認番号：22700BZX00118000
販売名：アヴィスタ MRI リード
医療機器承認番号：22800BZX00123000